

水道事業の沿革 昭和36年から昭和57年まで

年	月	事項
昭和36年（1961年）	4月	飛島、黒森簡易水道事業を酒田市水道事業に繰り入れる。
	7月	鳥海上水道第1次拡張工事着工
	12月	鳥海上水道第1次拡張工事竣工（昭36.3認可）
昭和38年（1963年）	1月	上郷地区簡易水道給水開始
昭和39年（1964年）	3月	酒田市上水道第4次拡張工事（事業変更）着工
		西荒瀬、中平田簡易水道を廃止、酒田市上水道に統合
	4月	酒田市上水道第4次拡張工事竣工（昭39.3許可）
	6月	新潟地震発生（震度5）。上水道施設に多大の被害を受ける。
	8月	平田町町制施行
昭和40年（1965年）	12月	新潟地震復旧工事完了。復旧費82,639千円
昭和42年（1967年）	4月	酒田市上水道第5次拡張工事着工
	6月	飛島渇水のため、巡視船「とね」による緊急の水輸送が行われる。
昭和43年（1968年）	8月	小林簡易水道創設工事着工
	12月	小林簡易水道創設工事竣工
昭和44年（1969年）	9月	飛島簡易水道第1次拡張工事着工
昭和46年（1971年）	3月	飛島簡易水道第1次拡張工事竣工（昭44.8認可）
	4月	鳥海上水道第2次拡張工事着工
昭和47年（1972年）	3月	酒田市上水道第5次拡張工事竣工
	4月	出羽大橋竣工
		酒田市上水道第6次拡張工事着工
昭和48年（1973年）	4月	平田町上水道第2次拡張工事着工
	10月	松嶺地区町営水道と内郷地区簡易水道を統合。松嶺地区簡易水道となる。
昭和50年（1975年）	3月	鳥海上水道第2次拡張工事竣工（昭46.3認可）
	8月	豪雨により、日向川曙橋の配水管が流失。南遊佐全地区で断水
	10月	広野、黒森簡易水道を廃止、酒田市上水道に統合
昭和51年（1976年）	10月	新堀簡易水道を廃止、酒田市上水道に統合
		「酒田市大火」発生（被害家屋1,017戸、上水道被害3億円余り）
	11月	新両羽橋が開通する。
昭和52年（1977年）	4月	火災復旧配水管整備事業が始まる。
		飛島渇水のため、この年52回の水輸送が行われる。
昭和53年（1978年）	3月	酒田市上水道第6次拡張工事竣工
	8月	気温摂氏40.8度を記録する（当時戦後全国最高）。
	12月	飛島簡易水道第2次拡張工事竣工（昭53.5認可）
昭和54年（1979年）	5月	酒田大火復興宣言
	7月	荒興野地区、成沢地区の各簡易水道が統合。成興野地区簡易水道となる。
		11月
昭和55年（1980年）		酒田市上水道創設50周年
昭和56年（1981年）	6月	水道料金改定（38.60パーセント）
	7月	平田町上水道第2次拡張工事竣工
昭和57年（1982年）	4月	田沢川ダムの建設促進等を目的に庄内北部水道推進協議会を発足